発達障害のある人の
キャリアアップ創出プロジェクト

一億総活躍!?プロジェクト「は・た・ら・く」
TSUMUGU”BITO”Prpject

1. 主催者の紹介
2. オリエンテーション
3. 障害者雇用を取り巻く現状
4. 休憩
5. スキルトレーニング演習導入編「言葉にする力」
- 参加者の自己紹介
6. 振り返り
7. 次回の案内、その他

＜背景＞

- 現状の障害者雇用枠での就業に満足していない
- キャリアアップを望んでいるが、方法がわからない
- 提供される仕事が簡単であったり定型のものが多い（モチベーションを持てない）
- 将来的な不安を抱えるケースが増えている
- 雇い主側が能力を活かしきれていない、どう対処していいかわからない

＜目的＞

- 就労を目指す発達障害のある人がひとりでも多く、自分に合った仕事に就き、活躍できる環境整備を行う
- キャリアアッププランとしてプログラムの構築

＜内容＞

- 開催日程：１～11月の毎月第4日曜日（8月お休み）　10回開催
  1月22日（日）、2月26日（日）、3月26日（日）、4月23日（日）、5月28日（日）
  6月25日（日）、7月23日（日）、9月24日（日）、10月22日（日）、11月26日（日）
- 開催時間：14時～17時半（90分×2）
- 参加費用：1回1000円

＜就労活動編＞

- 障害者雇用の基礎知識
- 人材紹介会社をうまく利用するポイント
- 業種・職種について、特性に合う仕事の選び方
- 特性の伝え方、合理的配慮とは
- 履歴書作成と面接のポイント、実際の面接での質問例
- 障害者の面接会、受給できるもの、就労支援
- 生活と就労のバランスを考える

＜就労定着編＞

- 職場のルールＱ＆Ａ、報告・連絡・相談
- ツール活用術
- スケジュール管理、工程管理、議事録作成のコツ
- 企画書の書き方、広報の仕事
- 人事担当者に聞く
- 労務担当者に聞く
- 特例子会社での雇用事例

「キャリアアップ創出」とは・・・

キャリアアップ（風船を膨らませる）する力を創出する

1年目（知るステージ）

標準を知り、社会人として必要最低限の基礎力を知る・身につけることにチャレンジする

2年目（創るステージ）

自分たちの得意な能力に気付き、それを活かすための土台（分野、職種、目標、プランなど）をつくることにちゃんレンジする。

３年目（活かす・攻めるステージ）

得意な能力を活かす仕事にチャレンジする。

将来的には、一つの能力が伸びて自信をつけることで他の能力も引き上げていく。

社会環境の変化

- ITの進化、AI（人工知能）がもたらすもの
- 一億総活躍社会の本質、モノやサービスの変化
- 長寿社会がもたらす消費者志向
- ダイバシティ・インクルージョン（女性、外国人、LGBT、障害や難病のある人）の必要要件
- 福祉対象者が納税者になる意味

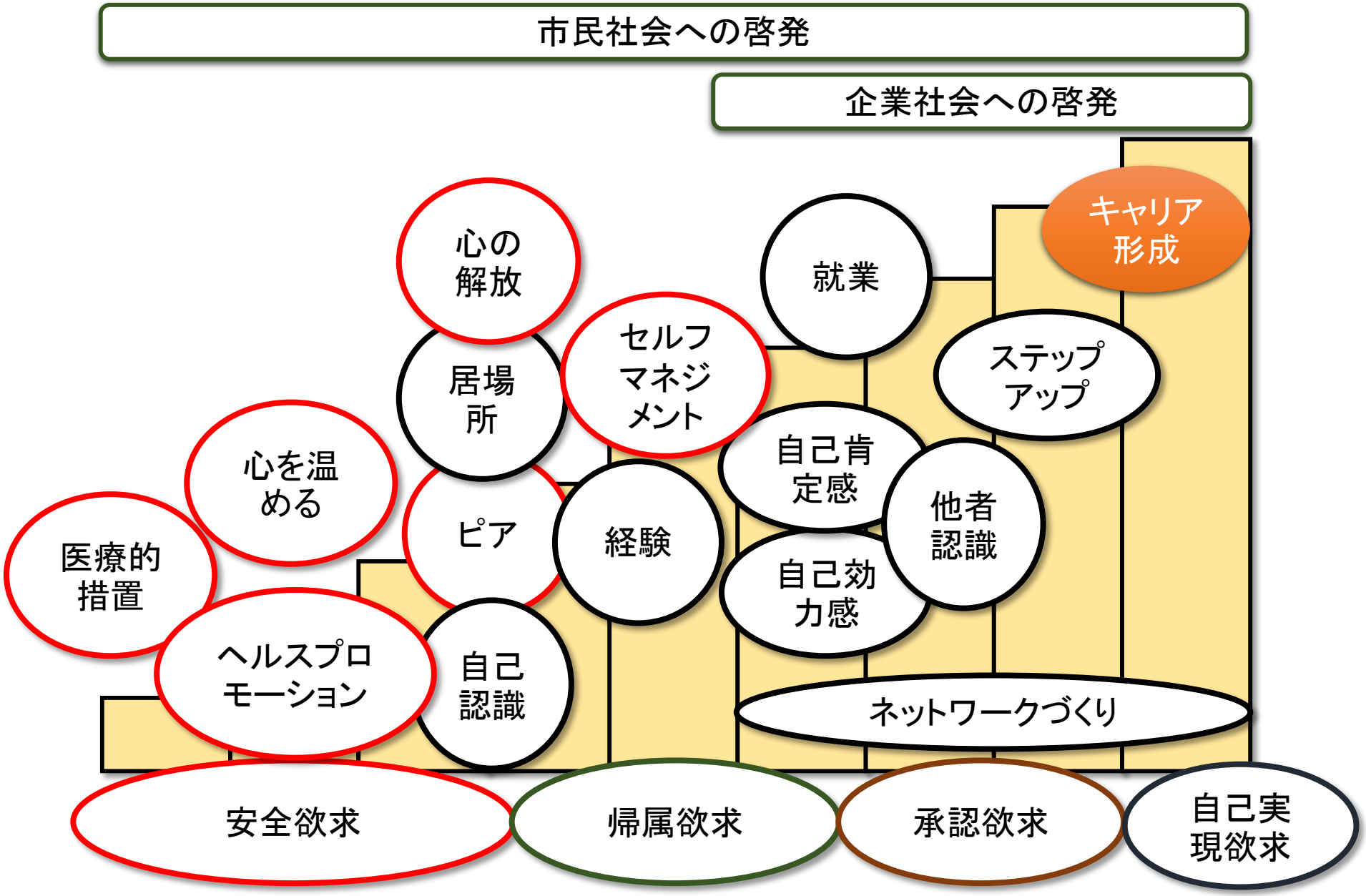
- 人生は十人十色であり、価値観は人それぞれ
- 障害や難病のある方、誰もが活躍できる、いわば全員参加型の社会
- 社会政策ではなく、究極の成長戦略
- 全ての人が包摂される社会の実現
- 多様な個人の能力の発揮による労働参加率向上やイノベーションの創出
- 既卒者が冷遇される「壁」、再チャレンジを阻む「壁」、子育てや介護との両立という「壁」を取り除く

キャリアアップ創出プロジェクト

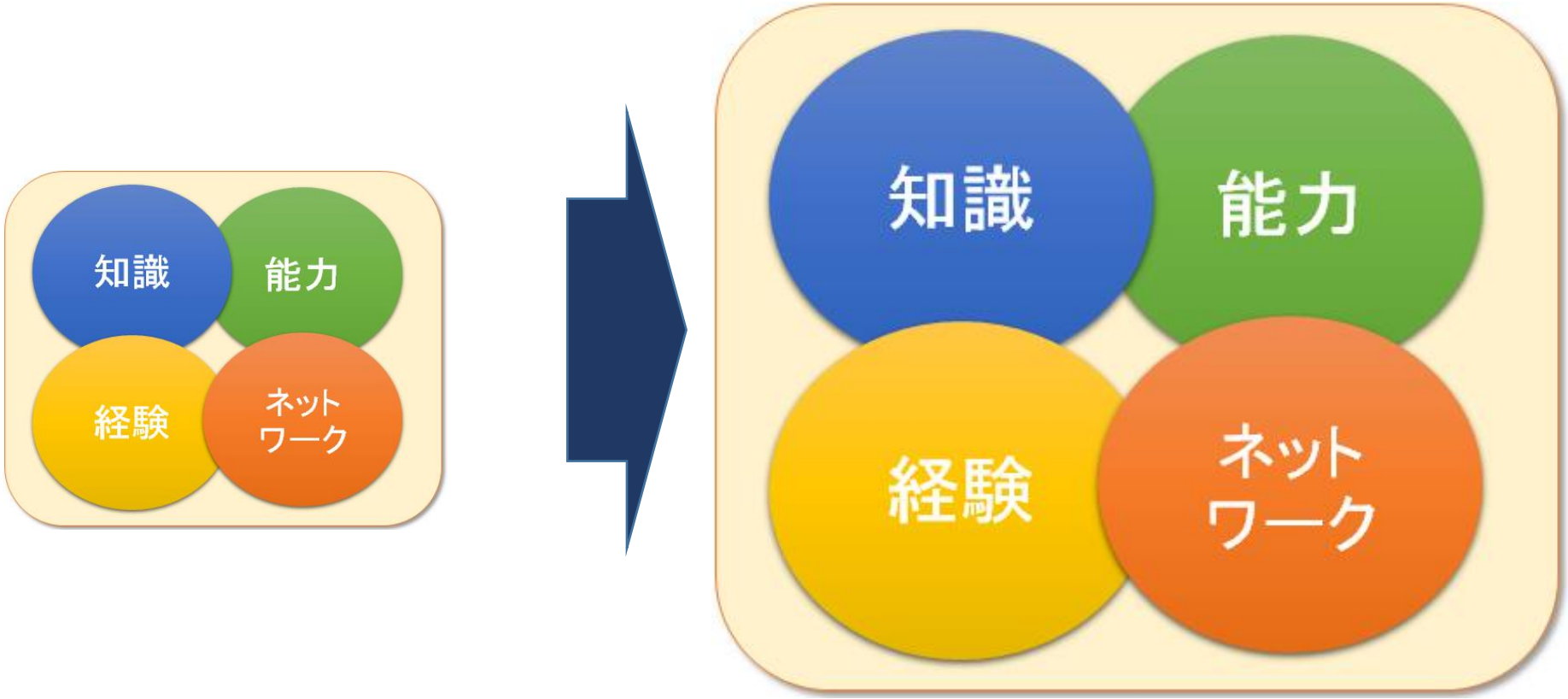
多様な働きができる社会的整備（法・制度・政策）

社会的自立のため要素の獲得（社会教育）

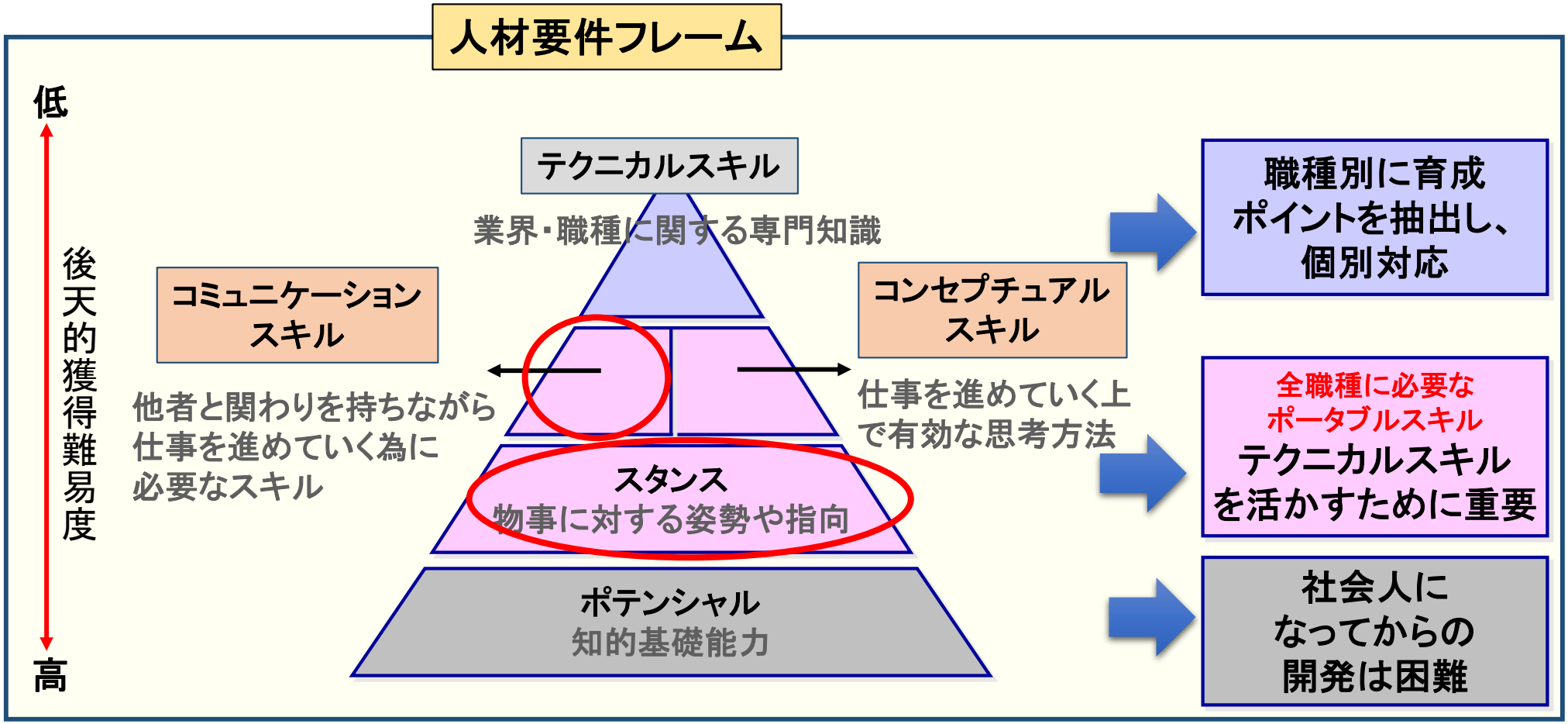
社会参加の要素


市民社会への啓発
企業社会への啓発
キャリア形成
心の解放
就業
セルフマネジメント
ステップアップ
居場所
心を温める
自己肯定感
他者認識
ピア
経験
医療的措置
自己効力感
ヘルスプロモーション
自己認識
ネットワークづくり
安全欲求
帰属欲求
承認欲求
自己実現欲求

キャリア形成の骨格



ポータブルスキル
業界や職種の枠を越えて通用する能力、あるいは陳腐化する事なく時代を超えて発揮できる能力やスタンス



社会人に必要と思うスキル

1	対話力	11	分析能力
2	優れた状況判断力/取捨選択する力	12	向上心
3	聞く力・ヒアリング力	13	順応力
4	優れた観察力	14	ストレス耐性
5	対応力の速さ	15	リスク管理能力
6	客観視する力/俯瞰する力	16	行動力・バイタリティ
7	取りまとめ・簡略化する力	17	発想力
8	業務完遂力/やりきる力	18	謙虚な心
9	意見を理解する力	19	倫理的思考能力
10	自己管理力	20	知的好奇心

今年度の目標

1. 標準を知る
2. 社会人として必要最低限の基礎力を知る
3. 身につけることにチャレンジする

重要課題

言語化スキル＝言葉にする力

自己紹介

- 氏名
- プロフィール（診断名、特性など開示できる範囲内で、仕事医経験は業種、職種など、固有名称は必要ありません）
- 参加動機
- このプロジェクトに期待するもの
- 自身の体調や特性などで会議の中で配慮してもらいたいことがあれば

＜課題＞
- 1週間のエピソードを箇条書きにする
- 1年間の目標を立てる準備をする

＜オフカフェ＞
音活・就活カフェ「は・た・ら・く」
- 日時：2月9日（木）午後6時～８時半
- 場所：健康スペースB.B.M